

兵庫県における使用済紙おむつのリサイクルモデル 「ひょうごモデル」の構築に向けて

県では、令和6年1月に兵庫県資源循環推進計画を策定し、各種資源循環の取組を促進しています。

現在、使用済紙おむつについては、各自治体が今後の可燃ごみ中の割合の増加や焼却処理の困難さに課題を感じており、環境省がガイドラインを策定（令和8年2月改定）し、分別収集やリサイクル事業の自治体支援を行っています。リサイクル方法やにおい、衛生上の問題、処理後物の利用方法等については、検討の途上にあります。

それらを踏まえて、兵庫県では、ごみ処理広域化・集約化を踏まえた効率的・効果的な使用済紙おむつの回収・リサイクルモデル「ひょうごモデル」の構築が必要と考えています。

この度、キックオフとなる意見交換会を開催し、使用済紙おむつのリサイクルの現状を環境省から説明するとともに、参加者によるワークショップ等を実施し、活発に意見交換を行う場を設けることとします。

多くの人々が利用する紙おむつが、使用後も資源として活用できる社会を目指して、県内自治体・企業とともに公民連携を推進し、今後、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて検討を進めていきます。

令和8年8月24日

1 「使用済紙おむつのリサイクルモデル構築検討」第一回意見交換会

- (1) 日時 令和8年8月31日（月）14時～16時
- (2) 場所 ラッセホール2階ルージュローズ（〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-10-8）
- (3) 内容 （第一部）環境省資源循環課講演 等 ※公開
（第二部）意見交換ワークショップ等 ※非公開

2 各主体の役割

- (1) 排出者 県内介護事業者、保育事業者等
- (2) 分別収集・処理 県内市町・一部事務組合、廃棄物処理業者、特装車製造業者、
- (3) 再商品化・流通等 紙おむつ製造業者、小売店舗、金融機関
- (4) その他 有識者、学生
- (5) 全体 兵庫県（事務局：一般財団法人日本環境衛生センター）

意見交換会の第一部はZoomにより配信します。視聴をご希望の方は、次のURLからウェビナーにご入室ください。

（意見交換会第一部 Zoom 配信用URL）

<https://us06web.zoom.us/j/87822011392?pwd=b4b7wYhN2SEhrYifgUNbbmCYoMMEIc.1>

ウェビナーID：878 2201 1392

パスコード：604060